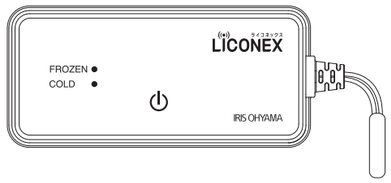
設置手順書

取扱説明書 保管用

日本国内専用

無線制御システム LICONEX（ライコネックス）
温度センサー 電池タイプ
IRLI-TS1-BT



温度の確認には専用アプリが必要です。
アプリの使用方法は別紙の操作手順書をご覧ください。

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。

- ●本機は無線制御システムLiCONEXと連動して、温度データの取得が可能です。
- ●本機単体での使用はできません。
- ●設定については当社営業にお問い合わせください。
- ●本機で照明器具の電源を入／切することはできません。
- ●この取扱説明書は大切に保管してください。
- ●本機に対応するLiCONEXシステムのバージョンはLiCONEX 3.0以降です。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

■保証期間

保証期間は、サービス開始時または機器校正時より1年です。
※使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店、またはサポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
②お引き渡し後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電池の使用などによる故障および損傷
④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社
IoTソリューション事業部 〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目12番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/ied/houjin/
製品に関するお問い合わせは サポートコール（通話料無料） 0120-93-8831
受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 ／ 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）
FAXでのお問い合わせは（通信料無料） 0800-111-9300
Web からのお問い合わせは https://www.irisohyama.co.jp/ied/houjin/contact/
メールフォームにご記入のうえ送信してください

638414
180522-AKU-LIY-01
P190522-AKU-LIY-01

安全上の注意

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味	⚠ 注意を促す記号	🚫 してはいけない［禁止］内容	❗ しなければならない［指示］内容

施工担当者様へ ●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

❗必ず実施
- **●CR2450電池2個を使用する**
  間違えると、破裂、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- **●電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス−の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる**
  間違えると、破裂、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- **●長期間使用しないときや使い切った時は電池を取り出しておく**
  液が漏れて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が体についたときは、よく洗い流してください。

水ぬれ禁止
- **●電池交換の時に、水が浸入しないようにする**
- **●ぬれた手で電池交換をしない**
  ショートや腐食により、液漏れや破裂の原因になることがあります。

❗必ず実施
- **●本製品の質量に耐える場所に取り付ける**
  取り付けが正しくないと、感電や落下による重大な事故の原因になります。

🚫禁止
- **●破損している製品を取り付けない**
  感電・火災・落下・けがの原因になります。
- **●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない**
  火災や感電の原因になります。
- **●粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない**
  発煙・火災の原因になります。
- **●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない**
  暖房器具の真上に取り付けると、本製品が過熱し、発火・感電・落下の原因になります。
- **●新旧の電池、種類の違う電池を混ぜて使わない**
  液漏れにより周囲を汚損する原因になります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

❗必ず実施
- **●適正温度（-30～+35℃）で使用する**
  屋外や高温で長期間使用する場所に取り付けると、故障や短寿命の原因になります。

🚫禁止
- **●指定以外の場所に取り付けない**
  落下・破損・故障の原因になります。
- **●振動・衝撃のある場所には取り付けない**
  落下・破損の原因になります。

🚫禁止
- **●直射日光の当たる場所には取り付けない**
  劣化・腐食・落下の原因になります。
- **●雨水のかかる場所には取り付けない**
  水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。
- **●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない**
  腐食や落下の原因になります。

安全上の注意　つづき

お客様へ ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

❗必ず実施
- **●清掃の際は必ず電源を切る**
  感電・破損の原因になります。

🚫禁止
- **●可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置いたりしない**
  本製品を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

🚫禁止
- **●破損したものを使用しない**
  本製品が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。
- **●分解や改造はしない**
  本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。
- **●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない**
  火災や感電の原因になります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

❗必ず実施
- **●定期的に点検する**
  1年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。
  ※使用条件：周囲温度0℃、データ取得周期1時間で使用した場合。
- **●適正温度（-30～+35℃）で使用する**
  屋外や高温で長期間使用する場所に取り付けると、故障や短寿命の原因になります。

🚫禁止
- **●マグネットを磁気の影響を受けやすいものに近づけない**
  磁気記録媒体（録音・録画用テープ、磁気記録ディスク）などの記録内容が消えたり、電子機器の動作に影響を与えたりすることがあります。またマグネットを心臓ペースメーカー本体に近づけないでください。体調不良の原因になることがあります。

使用上のご注意

- ●温度センサー単体での使用、ネットワーク登録はできません。
- ●本製品はネットワーク構築のほか、位置情報の基準として使用される場合があります。設定後の移動はしないでください。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
- ●清掃する際は必ず電源を切ったあとに行ってください。
- ●水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- ●シンナー、ベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

電波に関する注意

本機に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本機の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

- ●本機の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本機の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- ●本機は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本機の使用による免責事項について

本機を用いて2.4GHz帯の無線データ通信を行う場合、下記の用途には使用できません。また当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- ●医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- ●故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本機の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側の瑕疵による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。

■セキュリティに関する注意

無線LANは電波を使ってデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線LANを使用する際は、その危険性を十分に理解し、データの安全を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

■電波防害について

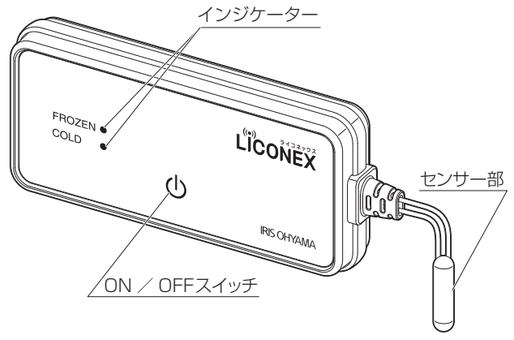
下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

- ●本機と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●本機と照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●本機の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- ●金属物の壁面に本機を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●本機または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●本機または照明器具の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

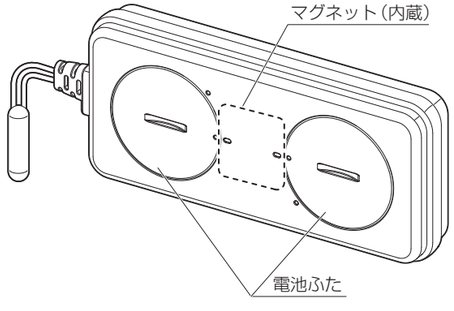
送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、照明器具と本機は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。
電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。
内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい動作ができない場合がありますのでご注意ください。

各部の名称

〈正面〉



〈背面〉



仕様

品番	IRLI-TS1-BT
サイズ	W48×H175×D16mm
質量	70g（乾電池を含む）
主要材質	ポリカーボネート樹脂

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

使用条件

本製品は以下の環境で使用してください。

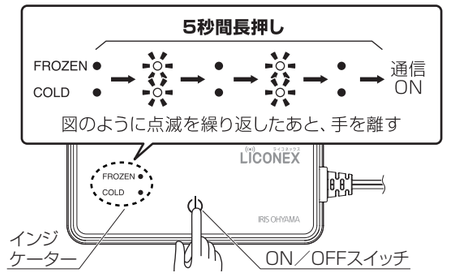
- ●-30～+35℃の環境
- ●湿度10～85%の環境
- ●直射日光の当たらない屋内
- ●雨水のかからない環境
- ●酸や塩素などの腐食性ガスの発生しない環境
- ●振動・衝撃のない環境
- ●最寄りのLiCONEX対応製品との距離が15m以内の場所
- ●電波干渉を受けない環境

操作方法・インジケーターについて

●イラストは冷凍エリア測定時※1の場合です。

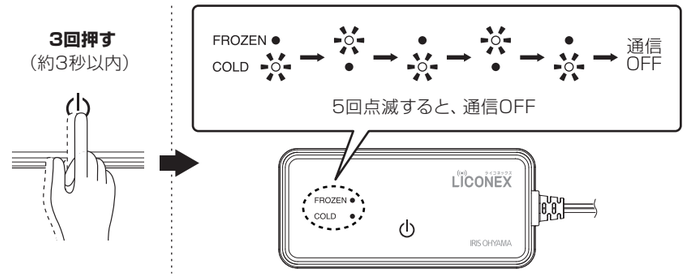
■通信をONにする

ON／OFFスイッチを、5秒間**長押し**する。
（この間にインジケーターが2回点滅します。）



■通信をOFFにする

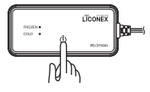
ON／OFFスイッチを、3回押す（約3秒以内）。
（スイッチを3回押したあと、インジケーター[COLD]から交互に5回点滅します。）



■通信のON／OFFを確認する

下記2通り（A B）のいずれかで確認する。

A ON／OFFスイッチを1回だけ押す



〈通信がONの場合〉	〈通信がOFFの場合〉
FROZEN ●	FROZEN ●
COLD ●	COLD ●
2回点滅	点灯しない

B 本体に触れず待機

〈通信がONの場合〉	〈通信がOFFの場合〉
FROZEN ●	FROZEN ●
COLD ●	COLD ●
30秒に1回点滅	点灯しない

※1 測定環境について

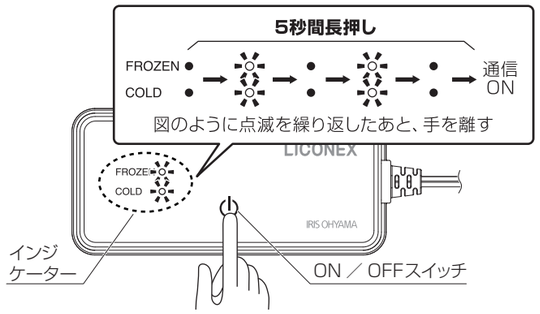
点滅するインジケーターは測定環境温度によって変わります。

冷凍エリア測定時	冷蔵エリア測定時
FROZEN ●	FROZEN ●
COLD ●	COLD ●

取り付けかた

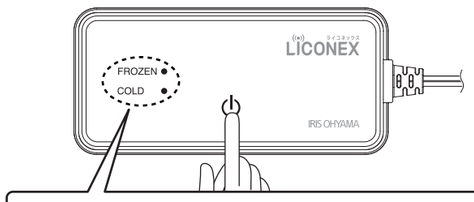
1. 本体の通信をONにする

ON／OFFスイッチを、5秒間**長押し**する。
（この間にインジケーターが2回点滅します。）



2. 本体の測定モードを確認する

ON／OFFスイッチを1回だけ押し、点滅したインジケーターを確認する。

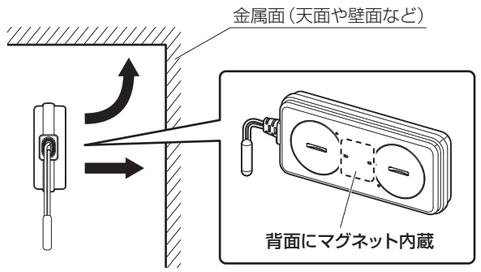


●点滅するインジケーターは測定環境温度によって変わります。

冷凍エリア測定時	冷蔵エリア測定時
FROZEN ●	FROZEN ●
COLD ●	COLD ●

3. 本体を金属面に取り付ける

測定モードに適した場所の金属面に、本体を取り付ける。

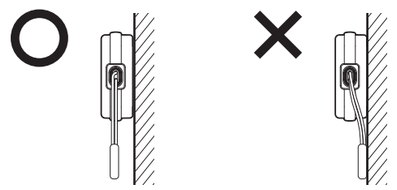


＜横から見た図＞

⚠注意

●センサー部を金属面に接触させない

正しく測定ができません。

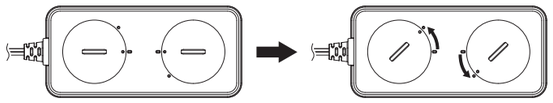


電池の交換方法

●ON/OFFスイッチを押してもインジケーターが点灯しない場合は、新しい電池（CR2450）に交換してください。

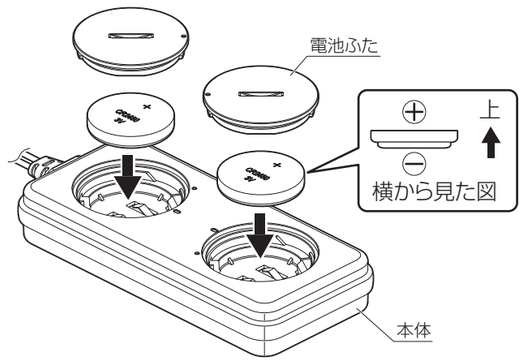
1. 硬貨などを使用し、電池ふたを回して外す

電池ふたの刻印〇が本体の刻印〇の位置にくるまで回す。



2. 新しい電池にセットする

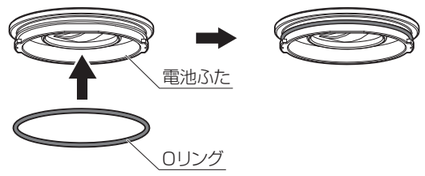
正しい向きにセットし、本体に差し込む。



※電池の表裏を間違えないでください。
※使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
（廃棄の際には、セロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください。）

3. 電池ふたにOリングが付いていることを確認する

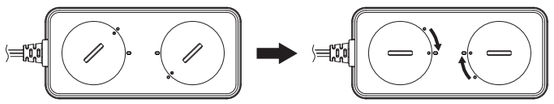
外れた場合は、ふたのフチに取り付ける。



⚠注意

●Oリングは必ず取り付ける

本体に結露した水滴などが浸入し、内部破損の原因になります。

4. 電池ふたを本体に取り付ける

電池ふたの刻印〇が本体の刻印[]の位置にくるまで回す。